

第 1 8 期 報 告 書

(平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日まで)

特定非営利活動法人りすシステム

I. 第 18 期事業報告書

特定非営利活動法人りすシステムは、生前契約に関する啓蒙普及事業、死後事務契約の受託事業、生前事務契約の受託事業、成年後見制度における後見人の受託事業、地球に恩返し運動事業および利用者支援事業を中心として活動をしておりますが、定款に記載した事業別（12 に区分できます）について当期の活動状況を説明しますと以下の通りです。

なお、今年は私どもが生前契約という概念を誕生させ活動を始めてから 25 年目にあたり、社会的にもその活動がますます必要とされる時代が来ていると考えています。今後とも契約されている方々が安心して生活できるよう充実した組織運営に邁進していきます。

1. 生前契約に関する啓蒙普及事業

イ) 定期説明会の実施

各支部で毎月 1 回実施し、説明会参加者数は 1,569 人でした。その結果、新規利用申込者は 342 人でした。

ロ) 講演実施およびテレビ・新聞・雑誌等での紹介

講 演：東 京：平成 29 年 9 月、平成 30 年 6 月

山 口：平成 29 年 12 月、大 分：平成 30 年 1 月

北 海 道：平成 30 年 3 月、埼 玉：平成 30 年 4 月

テレビ：B S フ ジ：平成 30 年 4 月

N H K：平成 30 年 4 月

新 聞：毎日新聞 1 回、朝日新聞 1 回、日本経済新聞 2 回、東京新聞 1 回、
介護新聞 1 回、宗教新聞 1 回、

雑 誌：日経ヴェリタス「スマートライフ「終活」最前線を追う」

インターネット：zakzak「認知症の妻・大山残し・・・佐川啓介さん無念の
死 あなたならどうする？老々介護中に病魔に襲われ」

2. 死後事務契約（祭祀主宰を含む）の受託事業

イ) 死後事務契約受託

各支部で通年実施し、死後事務契約者数は 354 人でした。

ロ) 死後事務の履行

死後事務を全て終えるまで履行した人数は 75 人でした。死後事務を葬儀・
家のかたづけ・その他各種手続別に履行した件数は 676 件でした。

3. 生前事務契約（療養看護、身上監護、財産管理等生活支援）の受託事業

イ) 生前事務契約受託

各支部で通年実施し、生前事務契約者数は 318 人でした。

ロ) 生前事務の履行

各支部で通年実施し、生前事務を履行した件数は 2,963 件および入院・入居・

旅行・就職等に係る保証をした件数は 638 件でした。

4. 任意後見契約の受託並びに成年後見人等の受託事業

イ) 後見事務契約受託

各支部で通年実施し、任意後見契約者数は 318 人でした。

ロ) 後見事務の履行

東日本・北日本・中部日本・西日本・九州支部で通年実施し、後見事務を履行した件数は 283 件でした。

5. 生前契約に係る遺言に関する事業

遺言作成のサポート事務受託を各支部で通年実施し、遺言公正証書作成者数は 230 人および遺言執行をした件数は 24 件でした。

6. 目的達成に必要な人材育成および出版に関する事業

イ) りすシステムスタッフの研修

元最高裁判事による「民法の基礎および実務研修」および杏林大学医学部教授による「人体の成り立ち」を 4 回実施し、延べ 166 人参加しました。

ロ) 書籍販売

各支部で通年実施しました。

7. 葬送環境科学研究所による地球にやさしい葬法の調査研究、開発、啓蒙普及事業

イ) 調査研究および開発

NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構と協力して「エコ人権葬」運動を推進しています。自分の葬儀に必要な二酸化炭素を植樹によって相殺することを目的にした「地球に恩返し基金運動」を実施しています。

ロ) ニュージーランド撒骨

今年度は実施しておりません。

8. 地球に恩返し運動（森づくり等）に関する事業

大分県の功德院の周辺に土地を購入し、地球に恩返しの森づくり（薬用樹木の森を含む）を実施しています。

9. 葬送 110 番の設置等葬送に関する相談および支援事業

葬送に関する電話相談事業を各支部で通年実施し、相談件数は 440 件でした。

10. 生活支援テレフォンの設置等生活支援に関する相談事業

日常生活で気になること等、暮らしの相談に関する電話相談事業を各支部で通年実施し、相談件数は 353 件でした。

11. 生前契約利用者に対する支援事業

イ) 会報誌「りす倶楽部」および「ARCO通信」発行

生前契約利用者を対象に本部で「りす倶楽部」は原則毎月1回発行し発行部数は年間33,500部、および「ARCO通信」は季刊で発行し発行部数は35,800部です。

ロ) りす倶楽部の懇親会等

生前契約利用者を対象に各支部で実施し、実施回数は100回で参加者数は1,211人でした。

ハ) 24時間コールセンター事業

生前契約利用者を対象にりすセンターで通年実施し、コールセンター利用件数は年間1,161件でした。

ニ) りすセンター・新木場事業

りすセンター・新木場が生前契約利用者およびその他の一般の方を対象として平成23年1月にオープンして以降、

- ① 人が亡くなったときに遺体を預かる施設として、また、その親族が亡くなった方に相応しい弔いをどうしたらよいかを一息ついて相談できる施設として利用されています。611の方が来場され、利用されました。
- ② 平成26年6月にAiシステムが導入され医療事故調査のために遺体のAi撮影を実施する施設として利用されています。利用件数は35件でした。

ホ) 支部での各種支援事業

生前契約利用者の契約内容に係わる来所相談および電話相談を各支部で通年実施し、来所相談者数は1,229人及び電話相談件数は8,013件でした。

ヘ) 医療に関する相談事業

生前契約利用者を対象に保健師OBのご協力を得て東日本・中部日本・西日本支部で通年実施し、多数の人の相談を受けています。

ト) その他の支援活動事業

- ① 生前契約利用者を対象にセコム株式会社と提携した安否確認サービス（セコムで見守り、緊急時に各支部（夜間は新木場）で対応する仕組み）を通年実施し、現在までにおよそ410世帯の方が利用しています。
- ② 生前契約利用者を対象に株式会社りすネットの協力を得て、住み替えや不動産売却の相談を各支部で通年実施し、97件の相談を受けました。

12. りすシステムと同じ目的を持つ特定非営利活動法人の設立、運営、支援に関する事業

地球に恩返し基金運動などの事業を実施するにあたり、「NPO地球に恩返しの森づくり推進機構」および「NPO草の根国際協力研修プログラム」の活動を支援しています。

Ⅱ．第 18 期収支計算書

上記のⅠ．第 18 期事業報告書で記載した事業活動を実施しました結果、経常収支差額は 22,437 千円となりました。経常的な事業活動からの経常収入は 492,821 千円【会費・入会金収入 98,210 千円(生前契約利用会費等 62,316 千円、維持会費 35,893 千円)、事業収入 63,509 千円、寄付金収入 325,900 千円および雑収入 5,201 千円】であり経常支出は 470,384 千円【事業費 409,399 千円および管理費 60,984 千円】であった結果です。

また、この経常収支差額にその他資金収支差額 77,289 千円を加えた当期収支差額は 99,726 千円となり、前期繰越収支差額 24,691 千円を加えた次期繰越収支差額は 124,418 千円となりました。

なお、当期収支差額に正味財産増減額を加味した当期正味財産は 12,741 千円増加し、これに前期繰越正味財産 306,245 千円を加えた当期正味財産合計は 318,987 千円となりました。

第 18 期収支計算書（要旨）

自 平成 29 年 7 月 1 日 至 平成 30 年 6 月 30 日

(単位：千円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
Ⅰ 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	98,210	
(生前契約利用会費収入等)	(62,316)	
(維持会費収入)	(35,893)	
2 事業収入	63,509	
3 寄付金収入	325,900	
4 雑収入	5,201	
経常収入合計		492,821
Ⅱ 経常支出の部		
1 事業費	409,399	
2 管理費	60,984	
経常支出合計		470,384
経常収支差額		22,437
Ⅲ その他資金収入の部		593,223
Ⅳ その他資金支出の部		515,934
当期収支差額		99,726
前期繰越収支差額		24,691
次期繰越収支差額		124,418

この第18期収支計算書（要旨）の経常収入と経常支出をⅠ．第18期事業報告書で記載した定款の事業別に記載しますと以下の通りです。

受託事業（定款事業の2．死後事務受託、3．生前事務受託、4．後見事務受託および5．遺言執行受託）の合計も支出が収入を上回っておりますが、少額です。

受託事業以外の生前契約事業の啓蒙普及活動、地球に恩返し運動活動および利用者支援活動等から発生する支出に管理費を合計した経常支出を会費・入会金収入、寄付金等収入および雑収入で賄い、経常収支差額はプラスとなっています。

第18期定款事業別経常収入、経常支出および経常収支差額の状況

（単位：千円）

定款事業	経常収入		経常支出		経常収支差額
	勘定科目	金額	勘定科目	金額	金額
1. 生前契約啓蒙普及	事業収入	3,930	事業費	96,607	
2. 死後事務受託	事業収入	10,915	事業費	12,281	
3. 生前事務受託	事業収入	27,819	事業費	37,940	
4. 後見事務受託	事業収入	2,381	事業費	6,053	
5. 遺言執行受託	事業収入	10,284	事業費	6,490	
6. 生涯教育・出版	事業収入	2,746	事業費	10,629	
7. 葬法調査研究		—	事業費	4,001	
8. 地球に恩返し運動	事業収入	49	事業費	45,549	
9. 葬送110番相談		—	事業費	3,743	
10. 生活支援相談		—	事業費	4,917	
11. 利用者支援	事業収入	5,383	事業費	168,838	
12. 他のNPO法人支援		—	事業費	12,347	
	事業収入 計	63,509	事業費 計	409,399	
			管理費	60,984	
	合計	63,509	合計	470,384	
	会費・入会金収入	98,210			
	(利用会費収入等)	(62,316)			
	(維持会費収入)	(35,893)			
	寄付金収入	325,900			
	雑収入	5,201			
	経常収入合計	492,821	経常支出合計	470,384	22,437

前年度は多額の寄付金収入があったことにより経常収支差額が大幅なプラスになりましたが、今年度は寄付金収入が減少した金額相当額だけ経常収支差額も前年度に比べて減少しています。

Ⅲ. 第 18 期貸借対照表

上記のⅠ. 第 18 期事業報告書で記載した事業を実施しました結果、第 18 期末の正味財産は第 17 期末に較べて 12,741 千円増加しました(この金額には、Ⅱ. 第 18 期収支計算書で記載した当期収支差額 99,726 千円を含んでいます)。なお、資産合計は 1,127,229 千円、負債合計は 808,242 千円、正味財産合計は 318,987 千円という状況です。

第 18 期貸借対照表 (要旨)

平成 30 年 6 月 30 日現在

(単位：千円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	111,325		
未収入金	122,480		
商品（納骨堂利用権）	16,140		
立替金	66,371		
その他	30,882		
流動資産合計		347,200	
2 固定資産			
土地	170,651		
死後・保全・遺言預り資産	430,220		
その他	179,157		
固定資産合計		780,028	
資産合計			1,127,229
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	106,000		
活動負担金	115,000		
未払金・未払費用・預り金	65,378		
その他	19,395		
流動負債合計		305,773	
2 固定負債			
長期借入金	45,270		
死後・保全・遺言預り負債	429,801		
その他	27,397		
固定負債合計		502,468	
負債合計			808,242
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		306,245	
当期正味財産増加額		12,741	
正味財産合計			318,987
負債及び正味財産合計			1,127,229

